

# ローリンストン / 福助

w/m : 福地信

波の様に押し寄せてくる 誰かの 味気ないメッセージ  
色を付け振り分けたら 白と黒のモノクロばっか  
誰もが似たような言い訳ならべて  
憧れた夕日を 心に描いてる  
この長い長い 下り坂をだらだらと下って行こう  
遠くに見える後ろ姿は まだまだ手が届かないままさ  
ローリンストン 止められない感情を  
そうローリンストン 抱き締めて さあ行こうか

涙をぬぐって見上げた先に見えるは 土砂降りの雨  
晴天ばかりは続かない そんなもんだね まあ雨も悪くない  
デコボコなこの道 まっ平に整えて  
力尽きるならば ありのまま転がろう  
この長い長い 下り坂をだらだらと下って行こう  
遠くに大きな背中 いつの間にか心の奥に  
ローリンストン 憧れたその背中を  
そうローリンストン いつまでも伝えていく  
Wow…

## < 曲紹介 >

作詞の勉強として、友人の曲に詩を乗せてみよう！と考えて出来上がったのがこの曲。

だから詞には想いが沢山詰まっています。母が亡くなったりした事もあり、両親を想うことが増えました。

人生の先輩を追う自分、教わったモノを抱えていかなきゃいけない自分。そしてそれを伝えていかなきゃいけないと思う自分がありまして。そんな中で…「この長い下り坂を ダラダラと下って行こう」

このダラダラってのが気に入っていて。長い長い下り坂（人生）、ゆっくり行こうじゃないか、と。

いつもならずーん、と重い感じの曲になってしまうんだけど、そこは作曲者が違うだけあって明るくキャッチー。

そこに乗せる言葉を選んでいくうちに、いつもなら書けない詞の世界観が広がっていきました。どこか無責任、と言うか。楽観的と言うか。この詞の主人公と一緒にいたら凄く楽だろうなあ。

rolling stone じゃなく、ローリンストンってのも気取った感じじゃなくて、今までの福助には無い感覚。

曲の事を考えないで、まっさらな状態で詞を乗せるって凄く楽しい！となった曲です。そして初の、お客様とシンガロング出来るかもしれない曲（笑）こんなご時世ですが！明日の風に乗る様に！ let's sing along！！